

マガキ幼生を簡単に見分ける技術開発

技術の概要

形態で判別しにくい小型から大型まで、いろいろなステージのマガキ幼生を簡単に見分ける技術を開発しました。

【操作手順】

凍結

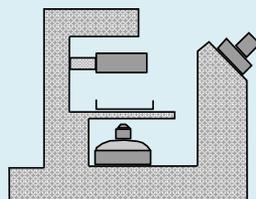
濃縮

試薬添加

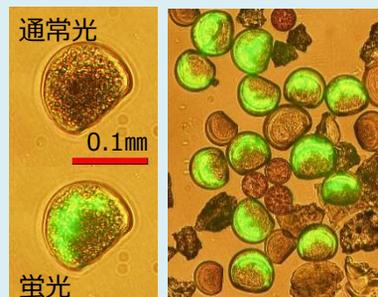
観察

30分程度

【蛍光顕微鏡】



【観察イメージ】



- ・凍結した試料に試薬を加えるだけの30分程度の操作で、観察が可能
- ・蛍光顕微鏡（ノリ業者が保有）により、判別がきわめて明確に！
- ・きわめて正確に判別可能（精度93%）

期待される効果



生産者による幼生調査

- ・カキ幼生判別技術は生産関係者でも使える技術です。
- ・幼生が少ない海域での数少ない採苗器投入のタイミングを判定するために威力を発揮します。
- ・効率的・安定的な天然採苗に貢献します。

【お問い合わせ先】 神山 孝史
国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所
TEL: 0193-63-8121 [代表] E-mail: Kamiyama@affrc.go.jp

当技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。